

消 防 団

## 四日市市消防団の沿革

江戸時代	各村に火の番所が設けられ、五人組という自治制度のもとに防火、消防活動が行われていた。また、江戸や城下町には町火消が組織されていた
明治19年	四日市に初めて火防組が組織される 消防夫 59 人
明治20年	火防組 12 組消防夫 864 人となる
明治24年	火防組が消防組と改名される
明治25年	消防組 23 組消防夫 1,309 人となる
明治27年 2月	勅令をもって消防規制が公布される 消防組規制により、消防組の全国的な統一が行われる
明治28年 12月26日	各町自警消防組を統一し、新たに四日市消防組として発足 四日市町消防組 第1 番組川原町、末永、浜一色（橋北地区） 第2 番組西町、久六町、比丘尻町、堅町 南町、北町、上新町（共同地区） 第3 番組中町、境町、八幡町、中新町 四ツ谷新町、南新町、（同和地区） 第4 番組浜町、北条町、下新町、新町、（同盟地区） 第5 番組蔵町、北納屋町、中納屋町 桶ノ町、袋町、高砂町、稲葉町、南納屋町（港地区） 第6 番組浜田、赤堀（浜田地区） 配置人員 組頭 1 人 小頭 6 人 消防手 193 人 合計 200 人 配備器具 ポンプ 6 大水桶 12 小水桶 64 梯子 6 鳶口 31 刺又 6 釣 13 斧 6 大縄 6 纏 6 旗 6 高張提灯 6 弓張提灯 62 消火札 6
明治30年	市政実施とともに四日市消防組も市に引き継がれる
大正 6年 10月	第5 番組（港地区）に初めてガソリンポンプを配置
大正12年 1月	全ての組にガソリンポンプを配置
大正15年	初めて自動車ポンプが購入され、組頭直属のもとに自動車隊が登場
昭和 5年	市域の拡大に伴って第7 番組（海蔵地区）第8 番組（塩浜地区）が本市消防組に編入
昭和 7年	本市上水道が完成し、消火栓 355 基を設置
昭和14年 1月	政府は準戦時体制から戦時体制に切換えを強行し、警防団令を発布した
昭和14年 4月 1日	昭和 6 年頃に結成され、防空活動を行っていた防護団と消防組を合体し、四日市警防団を設置した 警防団は消防組と同一区画の 8 分団とした 定員 622 人（内本部消防部 16 人） 分団に警護、消防、救護の 3 部を置く 初代警防団長 九鬼紋七氏

昭和16年	本市が富田町等2町3村を併合
昭和16年 10月3日	富田、富洲原両町の警防団を合体し、四日市北警防団を結成 四日市北警防団は、本部を富田警察署に置く 6分団 定員 363人 自動車ポンプ2台 ガソリンポンプ4台 腕用ポンプ3台 羽津、常磐、日永の各村警防団は四日市警防団の第9.10.11分団として本市に引き継がれた
昭和17年 8月	四日市警防団第5分団（港地区）に海上部を設置
昭和18年 6月	海上部を四日市警防団海上分団とし、発動機船2、消防艇1、短艇4を装備した
昭和18年	四郷、内部両村が併合され四日市市には2警防団20分団になる
昭和22年 9月	新消防団令に基づき、四日市市消防団と四日市市北消防団が組織され再出発した 四日市市消防団 本部と7分団 725人編成 初代団長 九鬼紋十郎氏 四日市市北消防団 富田、富洲原地区を区域とする 6分団 225人編成 初代団長 大野正平氏
昭和23年 2月29日	消防組織法の施行により、四日市市消防団と四日市北消防団を四日市市消防団として一本化した 初代消防団長 九鬼紋十郎氏
昭和24年 8月11日	2代目四日市市消防団長に大野正平氏就任
昭和26年 4月1日	四日市市消防団は消防団本部と橋北、港、中部、海蔵、塩浜、羽津、常磐、日永、四郷、内部、富田、富洲原、海上の13分団 四日市市消防団の定員 716名
昭和27年	四日市市消防団の定員 718名
昭和28年	四日市市消防団の定員 646名
昭和29年 3月	小山田村が合併され、小山田村消防団が四日市市消防団に編入
昭和29年 7月	市町村の合併により、河原田、神前、川島、桜、梶、三重、大矢知、八郷、下野の10分団が増加し、23分団とした 四日市市消防団の定員 1,156名
昭和32年	市町村の合併により、保々、水沢の2分団が増加し25分団とした
昭和35年	四日市市消防団に定員 1,258名
昭和39年	中部分団を廃止し、四日市市消防団の定員の見直しを実施 24分団 1,258名→427名
昭和53年 2月28日	大野正平氏消防団長を退任
昭和53年 3月1日	3代目消防団長に榊原孫七氏就任
昭和63年	海上分団に消防車両が配備され、全消防分団に消防車両が配備された

平成元年 1月31日	榊原孫七氏消防団長を退任
平成元年 2月1日	4代目消防団長に岩田忠兵衛氏就任
平成7年 3月3日	四日市市消防団・四日市市消防本部連名で、消防庁長官表彰を受章
平成9年 1月31日	岩田忠兵衛氏消防団長を退任
平成9年 2月1日	5代目消防団長に後藤正義氏就任
平成13年 7月31日	後藤正義氏消防団長を退任
平成13年 8月1日	6代目消防団長に堀善澄氏就任

## 歴代消防団長

代	氏名	在職期間
初	九鬼紋十郎	昭和23年9月29日～昭和24年8月10日
2	大野正平	昭和24年8月11日～昭和53年2月28日
3	榊原孫七	昭和53年3月1日～平成元年1月31日
4	岩田忠兵衛	平成元年2月1日～平成9年1月31日
5	後藤正義	平成9年2月1日～平成13年7月31日
6	堀善澄	平成13年8月1日～現在

# 消 防 団 の 概 況

(平成14年4月1日現在)

		人 員							消 防 車		
		合 計	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長		団 員	
合 計		412	1	3	23	23	23	55	284	23	
本 部		4	1	3							
分 団	第一 ブ ロ ッ ク	羽津分団	15			1	1	1	2	10	1
		富田分団	15			1	1	1	2	10	1
		富洲原分団	15			1	1	1	2	10	1
		大矢知分団	15			1	1	1	2	10	1
		八郷分団	15			1	1	1	2	10	1
		下野分団	22			1	1	1	3	16	1
		保々分団	22			1	1	1	3	16	1
	第二 ブ ロ ッ ク	橋北分団	15			1	1	1	2	10	1
		海蔵分団	15			1	1	1	2	10	1
		海上分団	15			1	1	1	2	10	1
		常磐分団	15			1	1	1	2	10	1
		三重分団	15			1	1	1	2	10	1
		川島分団	22			1	1	1	3	16	1
		神前分団	22			1	1	1	3	16	1
		桜分団	22			1	1	1	3	16	1
		県分団	22			1	1	1	3	16	1
	第三 ブ ロ ッ ク	塩浜分団	15			1	1	1	2	10	1
		日永分団	15			1	1	1	2	10	1
		河原田分団	15			1	1	1	2	10	1
		内部分団	15			1	1	1	2	10	1
		四郷分団	22			1	1	1	3	16	1
小山田分団		22			1	1	1	3	16	1	
水沢分団		22			1	1	1	3	16	1	

# 消 防 団 員 の 状 況

職業別消防団員数

(平成14年4月1日現在)

職業別 団員数	農 業 漁 業	建設業	製造業	電 気 ガ ス 熱 給 水 道 業	運 輸 通 信 業	卸 売 小 売 業 飲 食 業	金 融 保 険 業	サ ー ビ ス 業	公 務	そ の 他
412人	13人	60人	164人	16人	28人	79人	5人	15人	7人	25人

消防団員の年令別状況

(平成14年4月1日現在)

区分 階級	総 数	18~20 才	21~25 才	26~30 才	31~35 才	36~40 才	41~45 才	46~50 才	51~55 才	56才 以 上	平 均 年 令
総 数	412		13	55	65	76	58	55	46	44	41.4
団 長	1									1	62.0
副団長	3									3	62.0
分団長	23						1	1	5	16	58.3
副分団長	23						3	3	8	9	54.4
部 長	23					2	1	8	6	6	51.7
班 長	55				6	9	12	13	9	6	45.5
団 員	284		11	51	70	65	39	29	11	8	37.2

消防団員の在籍年数状況

(平成14年4月1日現在)

区分 階級	総 数	5年未満	5年以上 5 10年未満	10年以上 10 15年未満	15年以上 15 20年未満	20年以上 20 25年未満	25年以上 25 30年未満	30年以上	平 均 勤 続 年 数
総 数	412	126	99	68	50	26	11	32	10.9
団 長	1							1	36.0
副団長	3							3	30.0
分団長	23			2	1	3	5	12	29.6
副分団長	23			2	7	5	3	6	24.5
部 長	23		1	2	5	5	4	6	23.6
班 長	55	4	4	14	20	7	2	4	16.1
団 員	284	139	83	41	16	4		1	6.1

# 消防団員出動状況

(平成13年中)

職業別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
計	回数	123	111	199	150	141	189	270	184	132	108	195	181
	人員	1,186	989	1,437	920	854	1,076	2,325	1,885	1,288	720	1,851	1,311
火災	回数	19	45	36	30	28	16	36	36	27	16	38	36
	人員	245	546	368	333	316	117	380	414	305	159	433	335
水災	回数								47	24			
	人員								819	260			
訓練	回数	47	5	26	48	40	64	169	21	27	19	47	9
	人員	542	38	63	153	138	351	1,551	163	388	122	432	77
警戒	回数	5	2	1	1	2		2	2		3	2	73
	人員	47	33	15	6	8		27	35		39	12	453
その他災害	回数	1	2		1	1	5	4	2		1	3	
	人員	10	12		6	13	68	15	22		3	40	
会議研修	回数	2	5	21	16	16	25	6	17	2	14	3	2
	人員	6	25	54	67	29	50	11	38	2	20	5	27
予及水利 及び調査	回数	3	3	63	3	3	6	2	4	3	7	54	2
	人員	14	10	594	24	12	43	4	29	6	53	603	16
警備、作業 及び消防 用件	回数		3	6	5	5	27	7	9	3	2	2	13
	人員		31	21	9	16	125	15	43	5	2	4	81
ポンプ点検 及び車両 検査	回数	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46
	人員	322	322	322	322	322	322	322	322	322	322	322	322

# 消防団訓練・研修実施状況

(平成13年中)

種 別	実施機関	期 間	参加人員
初任科及び幹部科	消防本部	4月15日	44名
機関員科	各消防署	4月15日	53名
幹部科	三重県消防学校	6月29日～7月1日	2名
団長科	三重県消防学校	9月27日～9月28日	2名
防災指導員科 (応急手当指導講習)	第1ブロック	5月7日、5月14日	2名
	第2ブロック	5月13日、5月20日	24名
	第3ブロック	5月27日、6月3日	2名
防災訓練	四日市市	8月31日、9月2日他	444名
規律訓練	各消防署	11月4日～11月18日	329名
春・秋の火災予防運動・訓練	各消防署	3月1日～3月7日	728名
		11月9日～11月15日	654名
文化財防火デー	各消防署	1月26日	28名